

# 北陸における循環型社会形成に向けた ESD の推進

イベントの 延べ参加者数	約 600 人
助成活動がメディア に掲載された回数	3 回
活動の全体目標 に対する達成度	40%



ESD 富山シンポジウム生徒の発表

## ◆成果と工夫したポイント

- 成果** 3年事業の初年度終了時であるため、明確な成果は示しにくいですが、モデル事業(勝山北部中学校)のユネスコスクール ESD 大賞(中学校賞)受賞や、富山シンポジウムへの400名超の参加などは成果であると考えられる。
- 工夫** 北陸における様々な ESD 活動を調整することによる、異なる活動間の相乗効果の確保。

## 課 題

現在は紙や電気、水の節約やリサイクル等、極めて限定的に狭い範囲で行われている、北陸の循環型社会形成に向けた取組みを、より広範かつ活発なものにすること。

## 活動内容

①大学教育を対象とする、循環型社会形成に向けた科目のカリキュラム開発と試行的な実施体制の整備。②初等中等教育における循環型社会形成に向けた、各種カリキュラムや課外活動に関するモデル事業の実施と、その報告書の作成、関連の研修の実施。③シンポジウムの開催、企業用パンフレットの作成等による、企業や地域社会の循環型社会形成に向けた取組み(ごみの減量化・資源化や顔の見えるリサイクル)推進に向けた普及啓発。



高岡市立成美小学校 ESD 研修会

## 今後の課題

3年事業の初年度としての活動はほぼ達成できたが、北陸の企業による食品廃棄物の減量化、顔の見えるリサイクルループの推進等の難しい挑戦に取り組んでいるので、引き続きこのペースで活動を進めていきたい。